

実施内容報告書

支援先施設	福島県立南会津病院	実施分野	透析看護
認定看護師	大星 知佳	所属施設	公立岩瀬病院

目 標

- ・根拠のある食事指導
- ・透析開始から終了までの観察項目の見直し
- ・意思決定支援

実施内容

回数 訪問日	実施内容	研修会テーマ	①支援内容 ②アンケートの意見等
第1回 7/26 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・透析室の施設の確認 ・透析スケジュール・動線の確認 ・患者指導の実際を見学 ・今後の研修内容についての確認 	<p>「透析看護とは」 講義形式 参加人数 7名</p>	<p>①支援内容 患者対応について、自宅での様子や体調を把握する事の大切さを説明 患者自身が実践できる具体的な指導方法を盛り込んだ説明を行った</p> <p>②アンケートの意見等 具体的なアドバイスを頂けた・自分には無い視点での話が聞く事が出来た・言葉だけではなく患者の訴えを聞き取る能力が必要という気付きがあったなどの意見が出ていた。</p>
第2回 8/30 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・透析開始時の患者観察 ・返血の様子観察 ・患者面談 ・受け持ち患者相談 透析導入1年未満患者 終末期患者 体重増加が多い患者 	<p>「意思決定支援」 講義形式 参加人数 7名</p>	<p>①支援内容 透析前の患者観察での注意点 DWを変更した時の注意点や患者情報の取り方や説明の仕方について返血の残血が多いので返血生食を増やせないか提案 3事例について看護展開の助言</p> <p>②アンケートの意見等 意思決定について本人の気持ちを聞くのが怖かったが退院出なくても外泊という方法もある事がわかった</p>
第3回 9/13 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・DWを変更時、上げた場合と下げた場合の症状について ・栄養士の方に食事指導について話を聞いた ・3事例の看護展開相談 	<p>「透析前・中・後の看護」 講義形式 参加人数 6名</p>	<p>①支援内容 終末期患者について病棟・地域・との関わりで今後どのような対応をして行くか共にアセスメントを行い看護展開を行った 体重を下げたくない患者へのアプローチの仕方について</p> <p>②アンケートの意見等 適正なDWについて学ぶ事で患者の状態のアセスメント能力が向上する</p>
第4回 10/18 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・3事例の看護展開 ・1人穿刺実施をガイドラインに従い2人穿刺で出来ないかの検討を提案 ・透析時のショックになる機序について 	<p>「患者指導」 食事指導を中心 参加人数 11名</p>	<p>①支援内容 体重増加が多い患者の生活指導について終末期患者の看護展開アドバイス 2人穿刺について</p> <p>②アンケートの意見等 採血の結果の読み取り方、透析効率についてなど患者のアセスメントに役立つ内容だった 増えが多い患者に対しての仕方が具体的で分かった</p>
第5回 11/8 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・協会との反省会成果や課題について会議を行った ・終末期事例の患者展開の振り返り ・体重増加が多い患者の経過と今後の関わりについて 	<p>事例発表 関わった3事例について施設の方が発表 参加人数 7名</p>	<p>①支援内容 体重増加が多く5時間透析になった方へのアドバイス 終末期に関わり亡くなってしまったが看護間で今後の終末期に対する関わりを持つ大切さを話す</p> <p>②アンケートの意見等 事例を振り返る事で大切な事が再確認できた 事例発表と振り返りを行い、改めて患者支援にはその人を知る必要があると思った</p>